

New Products

ノバセリオ2/ヨシダ
＜歯科用チェアユニット＞

ヨシダから発売された『ノバセリオ2』は、チェアの始動時と停止時の振動と音を大幅に軽減したショックレスチェアを搭載し、また、座った時に腰の部分がフィットする形状の背もたれ（バックレストランバーサポート）等、患者さんがリラックスして診療に臨んでいただける機能を装備した歯科用ユニットです。

【特徴】

- テーブルの操作パネルのスイッチを大きくし、間隔を拡げ、関連する項目を4色で色分けすることによって視認性が向上し、誰でも分かりやすく使いやすい工夫がされています。
- チェアのシートからエアーが出るクールシート機能をオプションで選べます。
- フラッシングボウル・バキュームクリーニングシステムをオプションで搭載することができます。診療前にホース内の残留水を簡単に除去できます。
- 診療スタイルに合わせた多彩なチェア色（ノーマルシート 13色/fukka-fukaシート 15色）と、テーブルタイプが選べます。

標準価格＝

カンター2型・オーバーアームタイプ
3,440,000円

前折れステップI型

・ベースマウントタイプ 3,700,000円

アシスティーナ3×2/白水貿易
＜自動洗浄・注油システム＞

3本同時に短時間で確実に洗浄と注油が行えるタービンコントラの自動洗浄・注油システム“アシスティーナ3×2”（W&H社製）が白水貿易から発売されました。専用設計のクリーニング洗浄液できっちり洗い、注水回路も洗浄するので目詰まりの解消につながります。また、ドライブ回路のみに注油されるので、注水回路にオイルが流れ込むことがありません。

【特徴】

- 新型のアシスティーナ3×2（スリーバイツー）はハンドピースを3本同時に洗浄&注油が可能です。タービン、コントラ&ストレートなどの組み合わせは自由です。尚、カップリングの種類により別売のアダプターが必要な場合があります。
- 本体操作はスタートボタンをワンタッチするだけのシンプル設計。カートリッジの交換時期、エラー表示もLEDランプの点灯/点滅で確認できます。
- 洗浄&注油の行程はわずか6分で完了。洗浄時は専用のクリーニング液で洗い流すだけでなく、一定時間の保留を行うことで除菌性を高めます。

標準価格＝本体一式 348,000円

PeriOptix ファイヤーフライ
/ビーエスエーサクライ
＜コードレスLEDライト＞

ビーエスエーサクライから発売されたPeriOptix社製“ファイヤーフライ”は、電源コードの断線トラブルなどコードが原因となる障害を防ぐことができる双眼ルーペ用のコードレスLEDライトです。ミニマムデザインによる設計は携帯性に優れ、究極の操作性を実現します。

【特徴】

- 革新的なデザインのファイヤーフライは、首の負担を低減する重さ29gの軽量設計。コードレスで煩わしさがなく、長時間使用時においても着けていることを感じさせない快適な治療をサポートします。
- 付属のソフトヘッドバンドで使用できる他、別売アダプター「スライドヒンジ」を使用することであらゆる双眼ルーペに装着できます。
- ライトボックスを2個付属しているので、交互に充電しながら使用できます。
- ON/OFF、及び光量の切替はライトボックスを回転させるだけの簡単操作。光量は20,000Luxと32,000Luxの2段階切替式です。
- 臨床的に最適化されたスポットサイズの光はムラなく均一な光を照射します。

標準価格＝本体一式 128,000円

My Recommendation

『ルシェロペースト マスデントF』
＜ジーシー＞

患者参考価格＝

60g入 1,690円（税抜）

神秘のハーブ「マスティック」で歯周病の予防！

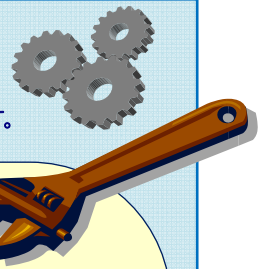
今回、ご紹介させて頂く商品は、㈱ジーシーから発売されております『ルシェロペースト マスデント F』です。マスティックとは、世界で唯一ギリシャのヒオス島で自生するコショウバクというハーブの木の樹液で、長寿国ギリシャでは5千年以上前から樹液をガムのように噛むと口腔衛生に役立つ事が知られていました。マスティックの樹液は歯周病の原因となる口腔内の細菌の発達や、プラークの形成を制御するという結果が出ています。ルシェロペースト マスデント F は、マスティック全体から2%程度しか取り出せない希少成分マスティックエッセンシャルオイルを「清掃剤」として配合した「自然派歯みがき」です。フッ素配合・防腐剤・合性甘味料を配合せず、低発泡でしっかりと歯みがきできます。患者様には「自然派の歯磨き剤なので安心して進められます。」「使用後もスッキリして爽やかです。」とのお言葉を予防に重点を置かれておられる医院様から頂きました。ぜひ一度お試しください。詳細につきましては、弊社担当者までお尋ねください。

鹿児島店 営業四課 上原 勝義

The year-end Information

★年末・年始に向けてのご準備は万全ですか？

早いもので2016年も残りわずかとなりました。本レポートも今年最後になりますので、毎年恒例ではございますが、弊社アフターサービス課より年末に向けての“お手入れと点検”についてご紹介します。



●診療室

①フィルターチェック

- ユニットの水・エアフィルターの有効期限確認。

②自動現像器

- タンククリーナー等を使用しタンク内の洗浄。
- ローラー部を中性洗剤で洗浄。
- ギア部を歯ブラシ等で洗浄。
※ローラー、ギアは水分を十分ふき取って下さい。
※現像・定着・水は来年の仕事始めに入れて下さい。

③電源

- 全ての診療機器をOFF又はコンセントを抜く。
- 動力（コンプレッサー、バキューム等）は、必ずOFFにしてください。

④給水

- 元栓を必ず締める。（特にテナントでご開業の医院様は忘れずに行ってください）

⑤ユニット

- バキュームホース内の洗浄。（現在ご使用中の専用クリーナーを十分に吸引させてください）
- 鉢洗いの洗浄。（同上にて専用クリーナーにて十分に洗浄してください。及び、網カゴやフィルターの洗浄も必要です）
- タービンやハンドピース等、各インスツルメント類の注油、及び洗浄。

●機械室

①水抜きチェック

- コンプレッサー
※オートトラップ自動水抜き付きの場合は作動を確認して下さい。
※特に寒冷地の医院様は、冬場は適時に水抜きを行わないと、コンプレッサーや配管内部で水が凍結し、エアが供給できなくなる可能性があります。また、使用しない年末年始間は、コンプレッサーに毛布を被せておくことも一つに手です。（始動時は必ず取り除いてください）
- トランスフォーマー（エア減圧器）
- エアドライヤー

②Vベルトチェック（駆動しているゴムベルト）

- コンプレッサー
- バキュームモーター
※ベルトのたるみ、ヒビの割れの確認が必要です。

③オイルチェック

- コンプレッサー（オイルフリータイプの場合除く）
※スクロールタイプは駆動時間のチェック。

●その他

- 石膏トラップ内の沈殿物除去と清掃
- 技工用バキューム及び口腔外バキュームのフィルターとダスト清掃。

★大掃除時のお手入れメモ★

- ユニット清掃作業として、鉢洗い内のネットフィルター、バキュームフィルター、排水トラップフィルターの清掃、セパレータータンク付きのユニットであれば、タンク内の清掃、排水弁の清掃を行うことで、年始のバキュームと排水つまりのトラブル解消に有効です。また、年始のユニット稼働時はコップ給水の水出しと、タービン等のインスツルメントをはずしての水出しを行うことにより、タービン内の水つまりの防止につながります。
- 取り外したタービン等インスツルメントにつきましては、十分な注油・洗浄を行い、使用メーカーごとの指定された保管状態での保管・管理をお願いします。
- ユニットの水フィルター及びエアフィルターは汚れていませんか？汚れが目に見えて確認できる状態であれば交換をオススメします。定期的な交換により、タービン注水の見詰まり防止やエアへの水の混入を防ぎます。
- ユニットやシートの汚れとりに、専用のクリーナーがあります。専用のクリーナーをお使いいただきますとシートのヒビ割れを起こしにくく、長持ちにもつながります。
- 石膏トラップのお手入れに“石膏沈殿物処理剤”があります。とっても手軽に石膏トラップ内の沈殿物を取り除くことができ、清掃も簡単に行えます。年始の悪臭防止につながりますので、石膏トラップの清掃は必ず行っていただきますようお願いいたします。また、悪臭防止にトラップ内の悪臭をとる抗菌・除菌防臭剤もあります。
- 自動現像器の年明けの始動に、現像・定着液の在庫を今一度ご確認いただけますようお願いいたします。
- 年始の始動時、診療開始前にはまず十分な水（コップ給水やインスツルメント類）を出していただくようお願いいたします。休みの間に使用していなかったために水垢が出る可能性があります。

以上、導入されておられます機器によって多少の違いはありますが、一年間フルに稼働した機器類を来年もよりよい状況でお使いいただくためにも、是非各項目の にチェックマークを入れてご確認いただけますようお願いいたします。お気付きの点や詳細につきましては、弊社アフターサービス、または営業担当者までお気軽にお尋ね下さい。上記内容につきましてもご説明いたします。

◆◆◆編集後記◆◆◆

今年一年間、“UK レポート”のご愛読をいただき、誠にありがとうございました。記事内容につきましては、誤字・脱字等もあり大変ご迷惑をお掛けしたことをこの場をおかりしてお詫びいたします。来年も、変わらぬ“UK レポート”のご愛読の程、何卒よろしくお願ひいたします。